



今後処置する指示改修案件

2004年6月2日  
 2004年6月3日 \*1 不具合内容追記  
 2004年6月9日 \*2 車種、年式修正  
 2004年6月16日 \*3 届出に伴う、車種、台数修正  
 2004年6月23日 \*4 届出に伴う、台数、車種名、件数欄形態修正  
 2004年6月30日 \*5 精査結果による、車種、台数、件数修正

 :No. 網網掛けは7/2届出予定案件

 :No. 網掛け部は7/7届出予定案件

 :既届出案件

[リコール該当案件]

No	項目	届出名 *5	対象車種 *5	対象台数[台]		指示 発行日	情報の種類 *4		不具合件数 *4			事故の有無 *4 ( )内は内数			不具合内容 *1
				国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/6	指示発行時点	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/5	
1	エンジンのシリンダーヘッド部へのオイル供給不良。 (オイル通路未貫通の可能性)	96年式 ランサー ミラージュ	ランサー ミラージュ	141	-	95/12	-	○	3	0	0	0	0	0	シリンダーヘッド加工工程でドリル折れを自主検査で発見し不良品を選別・修正したが、処置の実施に不備があり不良品が流出した。オイル加工穴未貫通の場合、カムシャフト焼けあるいは異音の不具合が発生する恐れがある。
2	エンジンのシリンダーヘッド部へのオイル供給不良。 (オイル通路加工不良で潤滑不良の可能性)	96年式 ランサー ミラージュ	ランサー ミラージュ	1,393 *3	-	95/12	-	○	9	2	0	0	0	0	シリンダーヘッド加工工程でドリル折れによりカエリが発生し切粉が残留しているのに気付かず不良品を流出させた。 切粉詰りによりオートラッシュアジャスタへのオイル供給量が不足しオートラッシュアジャスタ異音が発生する恐れがある。
3	急発進・過積載等過酷な条件下でエンジンのロールが大きい時、エンジンオイルクーラーホースと牽引フックが接触しオイルクーラーホースが損傷の恐れ。	92,93年式 ミラージュ ランサー リベロ	ミラージュ ランサー リベロ	19,802 *4	3,367	94/01	-	○	1	0	0	0	0	0	エンジン挙動が開発時の想定より大きく、使用条件(急発・急加速)によってはホースとトローイングフックブラケットが干渉し、オイルクーラーホース破損、オイル漏れの恐れがある。
4	ヒューエルリターンパイプ表面処理不良によりメッキが剥離しパイプが腐食する恐れ。	96年式 ミニキャブ ブラボー *4	ミニキャブ ブラボー	599 *4	-	97/01	○	-	0	0	0	0	0	0	パイプ製造工程の電解脱脂作業不良によるメッキ密着不良品が流出、最悪の場合、腐食が進行し穴があった場合、燃料が漏れる恐れがある。
5	燃料タンク部の低圧燃圧レギュレーターに被されている防水キャップが未装着の恐れ。	97.5年式 レグナム*3	レグナム	33	-	97/07	○	-	0	1	0	0	0	0	燃圧レギュレーター防水キャップを間違えて取り外してしまった作業者がいた。レギュレーター被水、腐蝕しエンジン不調及び腐蝕進行時、最悪燃料漏れに至る恐れがある。
6	ヒューエルタンク近辺にあるハイプレシャホースとパイプの結合部位にあるクイックコネクターのパイプへの挿入が一部不完全なものが流出した恐れ。	98年式 パジェロ	パジェロ	3,300	-	97/07	-	○	2	0	0	0	0	0	作業者の不慣れによりクイックコネクターの挿入が不十分で、燃料漏れの恐れがある。
7	メインマフラインレットパイプ前取付け部に亀裂が発生する恐れ。	95年式 デリカ *5	<b>デリカトラック *5</b>	2,216 *4	696	95/10	-	○	28	0	0	0	0	0	2WD 1500rpm 走行帯で、振動の為メインマフラインレットパイプ前側取付部が疲労破壊し排気ガスが漏れる恐れがある。
8	クランク角センサハーネスがパワステベルトに接触し損傷する恐れ。	97年式 ギャラン レグナム	ギャラン レグナム	2,534 *4	-	96/09	-	○	2	6	0	0	0	0	クランク角ハーネスの取り回しのバラツキによりパワステベルト側にたわんだ場合、ベルトと接触しハーネスが損傷することによりエンストする恐れがある。
9	過給圧制御用バキュームホースが折れ曲がりホースが閉塞する恐れ。	99年式 ランサー エボリューション Ⅲ	ランサー エボリューションⅢ	5,142 *4	-	95/05	-	○	17	1	0	0	0	0	ホース長が短く、取り回しによってはホースが折れ曲がり閉塞し、ガスケット吹き抜け、白煙吐出、最悪ピストン損傷に至る恐れがある。
10	アクセルワイヤブラケットが単体加振テストにて、破損する可能性を確認。	97年式 パジェロ	パジェロ	577 *4	-	96/05	○	-	0	0	0	0	0	0	アクセルワイヤブラケットの共振点(上下方向)が5400rpm相当に有る為、応力が疲労限界を超えアクセルワイヤブラケット及び、ブラケットステーの下側取付部より破損した。高回転域での共振の為、早期破損はないが、そのまま使い続けると最悪、ブラケットステーの下側取付部より破損し、アクセル操作不能に至る恐れがある。
11	シフトケーブル取付ナットの締付けトルク不足の恐れ。	96年式 ミニキャブ	ミニキャブ	6,168 *3	-	96/03	-	○	5	0	0	0	0	0	締め付け作業のミスにより、トルク不足品が流出した。ナットが使用過程で緩み脱落、最悪の場合シフト不能となる恐れがある。

No	項目	届出名 *5	対象車種 *5	対象台数[台]		指示 発行日	情報の種類 *4		不具合件数 *4			事故の有無 *4 ( )内は内数			不具合内容 *1	
				国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/6	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/5				
12	FF用4A/T搭載車で、エンドクラッチリ テーナ用オイルシールに不良の恐 れ。 (補用品搭載車両の対応指示)	92~94年式 (補用品搭載車) ミラージュ ランサー リペロ シャリオ RVR RVRスポーツギ ア ギャラン エテルナ *5 エメロード *5 デボネア デボネアV *5 ダイヤモンド GTO *5	ミラージュ ランサー リペロ シャリオ RVR RVRスポーツギ ア ギャラン エテルナ *5 エメロード *5 デボネア デボネアV *5 ダイヤモンド GTO *5	354 *4	-	94/04	-	○	0 *5	0	0	0	0	0	AT内部の、4速で作動するクラッチの油圧を保持して いるゴム製オイルシールに亀裂が発生し油圧が低下 することにより、クラッチが滑る場合があり、アクセル ペダルを踏んでも加速できなくなる恐れがある。 (生産車のリコール対象期間内に製造された補用品へ の対応指示)	
13	リヤプロベラシャフトとリヤデフの結合 ボルト/ナットの締付けトルク不十分な 恐れ。	95年式 バジェロミニ	バジェロミニ	129	-	95/04	○	-	0	0	0	0	0	0	生産ラインにてトルクチェック作業が一部車両で洩れ た。使用過程においてボルトが緩み、振動が発生し、 最悪の場合プロベラシャフト脱落に至る恐れがある。	
14	バトカーのフロントロワーアームに アームとパイプの溶接が不完全な恐 れ。	92年式 シグマ	シグマ	202 *4	-	94/11	-	○	1	0	0	0	0	0	ロアアームとパイプの溶接が一部不足していた(全周 溶接されていなかった)。使用過程において折損、操 安性不良が発生する恐れがある。	
15	リヤブレーキチューブの組付時に、一 部の車両においてチューブが変形し た可能性があり、リヤショックアブソー バと干渉し損傷の恐れ。	95年式 デリカ *5	デリカスペースギ ア	3,130 *3	399 *4	95/04	○	-	0	1	0	0	0	0	リヤブレーキチューブ組付け時、チューブを変形させ た為、チューブとショックアブソーバが干渉・損傷し ブレーキ効き不良に至る恐れがある。	
16	パーキングブレーキペダルを踏んでも ラチェットボールがロックされない為、 ペダルが戻ってしまう。	95年式 ダイヤモンド	ダイヤモンド	2,605 *5	-	95/05	○	-	0	0	0	0	0	0	ラチェットボール穴加工が小さく、ペダル踏み込み時 にラチェットが保持出来ず、パーキングブレーキが 正規に作動しない恐れがある。	
17	ホーンコンタクトリングの取付け(かし め)が不十分であり、使用過程で当該 リングが脱落する恐れ。	96年式 リペロ ランサー ミラージュ	リペロ ランサー ミラージュ	2,599 *4	1,458 *4	97/05	-	○	1	0	0	0	0	0	コンタクトリングをカシメる際のエア圧不足により、カシ メ不十分な物が有り、コンタクトリング脱落によりホ ーン不鳴となる恐れがある。	
18	テールゲートガススプリング取付部の 強度不足により、テールゲートの開閉 頻度が高い車両でガススプリング取 付部が破損する恐れ。	92年式 リペロ	リペロ	48,718 *5	26,139 *4	94/01	-	○	43	25 *5	4 *5	2 (ケガ:2)	11 (ケガ:11)	3 (ケガ:3)	開閉動作によりガススプリング取付部(テールゲート 側、クォーター側)が疲労破損し、ゲートの保持が出来 なくなる恐れがある。	
19	助手席エアバックモジュールAssy内 のインフレーターに、気密性不良なも のを誤って組付けてしまった。	97年式 ギャラン レグナム *2	ギャラン レグナム	115	35 *4	97/03	○	-	0	0	0	0	0	0	インフレーター封入ガス気密性不十分な物が有り、エ アバックが作動した際、エアバックの展開が遅れ、 最悪の場合、前面衝突時に乗員に過度の障害を与え る恐れがある。	
20	マニュアルトランスミッションのアイドル アップ回路用ダイオードハーネスが 損傷・ショートする可能性の未然防止 処置。	94年式 ミニカ ミニカトップ	ミニカ ミニカトップ	20,342	-	94/02	-	○	7	7	0	0	0	0	【焼損 1件】	ハーネス取りまわし作業のバラツキによりクラッチペ ダル操作時、アーム上部とハーネスが干渉・ショート し、ラジエータファン停止、始動不良、ランプ類不灯と なる恐れがある。
21	ディーラOPのフロントフォグランプ装 着車でヘッドランプ用サブフュージ ブルリンクの溶断の恐れ。	94年式 RVRスポーツギ ア	RVRスポーツギ ア	13,381 *4	-	94/04	-	○	1	0	0	0	0	0	ヒューズブルリンクの容量設定が不適な為、溶断し、 ヘッドランプ不灯となる恐れがある。	
22	フロントハーネスが左フレームへ干渉 し、ハーネス被覆が破れショートする 恐れ。	95年式 デリカ *5	デリカスペースギ ア	2,521 *3	-	94/11	-	○	1	8	0	0	0	0	【火災 2件 焼損 2件】	配線経路に不備が有り、ヒューズが溶断し始動不能、 変速不良の発生する恐れがある。
23	ISCハーネス/車速センサーハーネス の断線不具合に対する未然防止措 置。	95年式 FTO	FTO	13,680 *3	-	95/08	-	○	1	3	0	0	0	0	作業指示不足により、取り回しに不備が発生し、又、 ガイド部処理不良の為、ハーネスが断線し、エンジン 不調、スピードメーターの指示不良が発生する恐れが 有る。	

No	項目	届出名 *5	対象車種 *5	対象台数[台]		指示発行日	情報の種類 *4		不具合件数 *4			事故の有無 *4 ( )内は内数			不具合内容 *1
				国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/6	指示発行時点	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/5	
24	使用過程においてバッテリー内の極板が膨張変形し、最悪「内部ショートによる破裂」が発生する恐れ。	95年式 シグマ (バトカー)	シグマ	401 *4	—	96/12	—	○	9	0	0	0	0	0	バッテリーの信頼性が不足しており、バトカーの様な長時間アイドルによる高温条件下ではエンジンルーム内温度上昇により、液噴きする場合があります。始動不能となる。
25	コントロールハーネスとサーモスタットケースが擦られてハーネスに傷が付きショートに至る恐れ。	97年式 ギャラン レグナム	ギャラン レグナム	447 *4	—	96/11	—	○	1	0	0	0	0	0	ハーネスとサーモスタットケースの隙間が不足しており、ハーネス損傷、ショートし、AT3速固定、メーター指示不良となる恐れがある。
26	ウォーターポンプボデーのタイミングベルト用アイドルプーリー取付けボス部破損の恐れ。	93年式 ランサー ミラージュ リペロ ギャラン エテルナ *5 シャリオ RVR RVRスポーツギア *5 (上記車種のうち ディーゼル車)	ランサー ミラージュ リペロ ギャラン エテルナ *5 シャリオ RVR RVRスポーツギア	4,186 *4	—	93/05	—	○	69	4	0	0	0	0	ウォーターポンプボデーのボス部が強度不足の為、破損し水漏れになる。そのまま走行すると共締めのアイドラープーリーが脱落、その結果タイミングベルトがずれてバルブとピストンが干渉、最悪 走行不能となる恐れがある。
合計 25車種				154,715 *5	32,094 *4										
				186,809 *5											

[改善対策 該当案件]

No	項目	届出名 *5	対象車種 *5	対象台数[台]		指示発行日	情報の種類		不具合件数			事故の有無 *4 ( )内は内数			不具合内容 *1
				国内	海外		社内情報	市場情報	指示発行時点	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/5	指示発行時点	指示発行時点 ~01/3	01/3~04/5	
1	燃料残量が1/4以下の時に高速道路等走行中エンストの恐れ。	93,94年式 RVR, RVRスポーツギア	RVR RVRスポーツギア	8,722 *4	—	93/11	—	○	1	0	0	0	0	0	高速走行時、ヒューエルフロートAssy部が車体振動に共振し、バルブ部のフロートが密着不良を起こしエアを吸い込みエンストする恐れがある。
2	燃料が少ない時の登坂走行や発進加速時に息付き及びエンストの恐れ。	95年式 ディアマンテ	ディアマンテ	2,660 *4	—	95/04	—	○	4	0	0	0	0	0	ヒューエルタンク内部のリザーバークップが前後逆に取り付けられた物が有り、登坂・急加速時にエンジン息付き、若しくはエンストが発生する恐れがある。
3	オルタネータードライブベルトが過張力気味に調整された場合、芯線の負荷が大きくなり早期に摩耗する恐れ。	92~95年式 ミラージュ ランサー リペロ ギャラン エテルナ *5 シャリオ RVR RVRスポーツギア *5 (上記車種のうち ディーゼル車)	ミラージュ ランサー リペロ ギャラン エテルナ *5 シャリオ RVR RVRスポーツギア	43,504 *4	—	94/12	—	○	33 *5	7	0	0	1	0	AT車でオルタネータードライブベルトが過張力気味に調整された場合、エンジンのトルク変動が大きいこともあり、芯線の負荷が大きくなると摩耗が促進しベルト切れに至る恐れがある。
4	旋回時にクラッチを切るとエンストする恐れ。	96年式 ギャランΣ (タクシー)	ギャランΣ	12	—	96/01	○	—	0	0	0	0	0	0	LPG車において、ペーパーライザーの2次ダイヤフラム慣性重量が過大で横Gを受けたときに2次バルブが閉じてしまい燃料遮断され、左旋回時にクラッチを切るとエンストする恐れがある(小回り時に発生)。
合計 10車種				54,898 *4	0										
				54,898 *4											